

組合だより

【 第289号 平成30年7月 日本羊腸輸入組合 】

重要なお願い

この度、動物検疫所から、塩蔵ケーシングの家畜衛生条件に定める検査証明書の不備が散見されることから、同家畜衛生条件の徹底について、周知依頼がありました。

本件は、基本的に輸出国側の問題ではありますが、改善が図られない場合には、全件検査に依る検疫遅延や特定施設貨物の輸入停止にも至るものです。

組合員各位には、塩蔵ケーシングの家畜衛生条件の順守、特に検査証明書記載事項の徹底を図るよう取引先への注意喚起をお願いいたします。

平成30年6月の主な活動報告

1. 総会・理事会関係

○6月21日 平成30年度第2回理事会

新役員体制になって、実質的に初めての理事会が開催されました。理事9名中8名と監事1名が出席し、平成30年度事業を中心に審議いただきました。

今年度事業の方向については、最終ページをご覧ください。

2. 組合員向け情報提供（統計情報を除く）

○経済産業省より、「夏季の省エネルギー取組について」の周知・協力依頼がありましたので、会員ページに関連資料を掲載しました。可能な範囲でご協力をお願いします。

○BSE対策の見直しの状況について、参考資料を会員ページに掲載しました。

○一般社団法人 食肉科学技術研究所より「平成30年度品質管理担当者講習会の開催について」の周知依頼がありましたので、会員ページに掲載しました。

3. その他

○経済産業省中小企業庁の「消費税の転嫁状況に関する調査」に協力しました。

○組合員からのパキスタン、ヴェトナムの加工保管施設調査の状況に対する問い合わせに対し、現状をお伝えしました。

○パキスタン羊腸業者に対し、加工保管施設の指定のために必要な改善報告の提出を督促しました。

統計情報

*統計の詳細は組合ホームページで御確認下さい。

【財務省貿易統計】

平成30年5月の天然ケーシング輸入量は、次のとおりです。

- ・総輸入量 429.2 t (前月比+66.3 t、+18.3%/前年同月比+104.4 t、+32.2%)
- ・中国原産 238.4 t (// + 9.6 t、+ 4.2%/ // Δ 15.8 t、Δ 6.2%)
- ・豪州原産 112.1 t (// +32.9 t、+41.5%/ // + 85.7 t、+325.7%)
- ・NZ原産 77.7 t (// +23.6 t、+43.7%/ // + 34.8 t、+ 81.2%)

【組合報告統計】

平成30年5月の天然ケーシング輸入量は、次のとおりです。

- ・報告数量 合計：1, 168, 053ハクス (前年同月比：105.2%)
- 羊腸：1, 140, 053ハクス (// : 106.0%)
- 豚腸： 28, 000ハクス (// : 80.6%)

【ソーセージ生産量 (出典：日本ハム・ソーセージ工業協同組合)】

平成30年4月のソーセージ生産量は、次のとおりです。

- ・ソーセージ類合計生産量 : 28, 282.0トン (前年同月比：103.6%)
- ・ウィンナーソーセージ : 20, 909.0トン (// : 102.9%)
- ・フランクフルトソーセージ : 3, 593.4トン (// : 100.1%)

今後の主な予定

○ 8月23日 平成30年度第3回理事会

○ 10月24日 // 第4回理事会

組合事務局から

平成30年度事業の基本方向は、次のとおりです。

○実施事業：

- ・統計収集
- ・組合員向け研修
- ・販促用カレンダー作成
- ・中国業界団体との交流（再開）

○実施に向け検討を要する事業

- ・天然腸業界の積極的広報
- ・組合HPを通じた情報提供
- ・技能実習制度
- ・BSE 関連輸入禁止国からの輸入再開

それぞれの事業の詳細については、本紙及び組合HP等を通じご案内いたしますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

以上